

<h1>タイムリー</h1>	2011.1.1	<h2>JR東海労働組合 東京車両所分会</h2>
	No. 7 新年号	

年頭にあたって

分会執行委員長 松井 輝道

新年、明けましておめでとうございます。

一年間の闘い本当にご苦勞様でした。 感謝申し上げます。

昨年は、蒲郡駅事件の刑事裁判上告棄却、民事裁判上告棄却という許すことのできない決定が下されました。まさに検察主張のみを支持する最高裁は、労働組合を弾圧するための機関なのか! と怒りが込み上げてきます。

このような司法の反動化を絶対に許さない闘いをつくり、蒲郡駅事件上告棄却の不当性を世の中に広め、この現実を変えていく広範囲な闘いを推し進めていかなければなりません。

そして、現在も闘いの最中にあるJR浦和電車区事件の上告審勝利に向けた闘いを全力で推し進めていきましょう。

今、職場では『命令と服従』『規律と忠誠心』の労務管理の中、事故やミスを起こした社員を日勤勤務、処分、そして若年出向という二重、三重の懲罰人事が平然と行われています。ミスをしたら、処分と追放という会社のやり方は絶対に許される行為ではありません。「経験がないから出来ません!」と断ったにもかかわらず、経験のない社員に作業をさせたパンタグラフ舟体落事故。組織改正により三車両所に分かれてからの各車両所の連絡の不徹底が一因であった03侵入事故。これらの原因が会社・管理者にもあるにもかかわらず、その

すべてを現場社員に責任転嫁し、処分と若年出向という形で解決するやり方は、その社員の一生をも左右する大問題です! 社員のことなど全く考えない、一車両所の管理者の異常な労務管理が生み出した所業なのです。ミスや事故を起こした社員は、反省もするし、この職場で働きたいと思っています。その思いを無にするような、責任だけを追及する会社のやり方では、真の原因究明にはなりません。

何か事があるとその対策は、決まってすでに山ほどあるチェックシートの追加です。それに記入しても何ら解決には繋がりません。本来業務より報告書で時間がかかり、それが社員の重荷になっていることも知らず、すべてチェックシートと報告書で解決しようとするやり方は「社員を全く信用していないのか!」と誰もが思っていることです。私たちの仕事は、車両の検査・修繕です。それに弊害が出るような報告書は必要ありません。

私たちの闘いは職場が基本です。このような会社の労務管理に屈せず、それに抗する闘いを構築していきましょう。

分会執行委員会は、あらゆる闘いの最前頭で奮闘する決意です。

本年もよろしくお願ひします。

2011年 元旦

『JR東海労平和基金』 ご協力ありがとうございました。

本部第25回定期大会で確認された、平和活動の取組みの一環として、今年度も『JR東海労平和基金』を取り組みました。ご協力ありがとうございました。

この間、集められた平和基金で、ペシャワール会、アムネスティインターナショナル日本への支援、日本雲南省聯誼協会への支援、アウシュビッツ平和博物館や新幹線地本プライム会議平和研修など世界平和・連帯を目指した取組みなどに活用してきました。

今年も平和・人権・民主主義を守るために奮闘しましょう！

※当面する行動予定

- ・1月4日(月) 地本事務所開き 10:00
- ・1月15日(土) 後藤 隆司さん『勇退激励会』 18:45から
『大富(おおとみ)鮨』(京急・新馬場駅下車)
03-3471-3753
会費 5,000円(記念品代含む)
- ・1月16日(日) 本部旗開き(名古屋・通信ビル) 13:30から
- ・1月23日(日) 地本旗開き 13:30~17:00まで
田町・駐健保会館(JR田町駅下車)
1部 13:30から 2部(祝賀会) 15:30から
※祝賀会会費 3千円
- ・1月27日(木) 「リニア中央新幹線を考える集い」を開催します！
たしろ参院議員のご協力により、議員会館内にて開催！
※多くの国会議員・市民団体に参加を呼びかけます。
- ・2月11日(金) 『専任社員激励会』※11時30分 開始予定としています。
今年度、専任社員となられた『南波さん、有恵さん、竹内さん、
中村さん、日吉さん(2月)』各氏の専任社員激励会！
(尚、場所・会費等の詳細は後日連絡致します。)

組合員の皆様の参加をお願いします。

